

令和5年1月16日

名古屋市長 河村 たかし 様

令和5年度 予算編成に対する要望

減税日本ナゴヤ

団長	浅井 康正
副団長 兼 広報委員長	大村 光子
幹事長	佐藤 ゆうこ
政審会長	鈴木 孝之
副政審会長	河本 ゆうこ
幹事	田山 宏之
幹事	余語 さやか
財務委員長	鹿島 としあき
副広報委員長	沢田 ひとみ
新型コロナウイルス感染症等 危機管理対策委員長	中川 あつし
新型コロナウイルス感染症等 危機管理対策委員	豊田 薫

減税日本ナゴヤ 令和5年度予算編成にあたっての要望

新型コロナウイルス感染の第8波は依然として猛威を振るっており、令和5年1月6日現在、全国の新規感染者数は246,635人となっている。新たな変異株による感染拡大やインフルエンザとの同時流行も懸念される中で、「愛知県医療ひっ迫防止緊急アピール」の期間が来月19日まで延長されるなど、厳しい状況が続いている。また、昨年2月から続くロシアによるウクライナ侵攻により、世界的にエネルギーや食糧の価格高騰を招いており、日本においても、食料品約7000品目に加え、電気・ガス等も値上げが予定されるなど、市民生活が圧迫されている現状である。

一方、この年末年始は多くの方が故郷や旅先で過ごすことができたように、国民の行動制限や経済活動の制限の見直しが行われる等、日本もウィズコロナに向けた新たな段階へ移行しつつある。

そのような中で、本市の財政調整基金については、財政規律として積立額100億円を目指し、決算剰余金の2分の1を下らない額を基金に編入することとされており、令和4年度末の残高見込みは約208億円となっている。現下の市民生活が大変厳しい状況であることから、適時、的確な経済対策などに惜しみなく予算を割くべきであり、そのためには財政調整基金を取り崩すこともやむなしと考える。

今回の要望は、「一人の子どもも死なせないナゴヤの実現」や「賑わいのある街ナゴヤと経済の活性化」といった観点から取りまとめ、市長に再提出するものである。令和5年度予算案に、これらの要望項目をぜひとも反映していただくよう強く要望する。

【子どもを1人も死なせないナゴヤの実現】

局名	事項	考え方	令和4年9月9日予算要望内容
健康 福祉局	41. 公立大学法人名古屋 市立大学と連携した発達障 害児者への支援 (P48)	⑤	4-1. 発達障害の可能性のある幼 児、児童生徒に対し、特別支援教育 専門家チームの派遣、発達障害対応 支援講師、発達障害対応支援員、通 級指導定着支援員の配置等を図り、 支援を拡充すること。(教育委員会) (P74) 3-2. 発達障害に対する認知の高ま り等のニーズの増加を踏まえ、地域 療育センターの増設を早期に実現 し、早期子ども発達支援施策の推進 を図ること。(子ども青少年局) (P50)
子ども 青少年 局	3. 児童虐待対応支援員の配 置 (P51)	④	4-1. 児童虐待の根絶を目指し、児 童虐待防止推進を行う月間や関係 機関の連携を強化し、なごやこども サポート連絡協議会や各区連絡会 議において、児童に関わる関係機関 との情報交換、連携を引き続き行 い、児童虐待の防止に取り組むこ と。(P51)
	36. 児童相談所の体制強化 等 (P57)	⑤	4-3. 児童福祉司の増員など児童相 談所の体制強化を図るとともに、オ ンラインを取り入れる等の工夫を

			し、義務化されている研修を含む職員研修を着実に実施し、職員の質の向上に努めること。(P51)
	46. 公立大学法人名古屋市立大学と連携した発達障害児者への支援 (P59)	⑤	4-1. 発達障害の可能性のある幼児、児童生徒に対し、特別支援教育専門家チームの派遣、発達障害対応支援講師、発達障害対応支援員、通級指導定着支援員の配置等を図り、支援を拡充すること。(教育委員会) (P74) 3-2. 発達障害に対する認知の高まり等のニーズの増加を踏まえ、地域療育センターの増設を早期に実現し、早期子ども発達支援施策の推進を図ること。(子ども青少年局) (P50)
教育委員会	8. ナゴヤ・スクール・イノベーション事業 小・中学校における一貫教育の調査・研究 (P73)	⑤	3-1. 「ナゴヤ・スクール・イノベーション事業」の実施により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による授業改善に取り組み、子ども一人ひとりの興味・関心や、能力・進度に応じた学習を推進すること。また、イエナプラン教育等、国内外の先進事例の研究と、それらを参考にした実践研究を行うこと。(P73)
	10. なごや子ども応援委員会の運営 (P74)	⑤	1-1. なごや子ども応援委員会の充実した体制づくりや、全中学校への

		<p>常勤のスクールカウンセラー、総合援助職の配置のために、有能で熱意ある人材の確保に努めること。</p> <p>(P72)</p> <p>1-2. なごや子ども応援委員会に寄せられた相談事例を精査・共有する体制を整え、相談対応の向上を図ること。(P72)</p> <p>1-3. なごや子ども応援委員会をより身近で相談しやすいものとするために、親しみやすい広報宣伝物等により、児童・生徒や保護者に広く周知すること。(P72)</p>
12. キャリア教育の推進 (P76) 学校外における個に応じた 学びの支援	⑤	<p>1-5. キャリアサポート事業について、キャリアコンサルタントの配置を拡充し、子どもたちの生涯を通じた発達を支援する教育を進めること。(P72)</p>

【賑わいのある街ナゴヤと経済の活性化】

局名	事項	考え方	令和4年9月9日予算要望内容
財政局 (上下水道事業への支出分)	3. エネルギー価格高騰に伴う水道事業会計への補助 (P14)	④	経済水道委員会にて要望済み
	4. エネルギー価格高騰に伴う下水道事業会計への補助 (P14)	④	経済水道委員会にて要望済み
経済局	2. 商店街ローカルビジネス創出事業 (P23)	④	1-1. 商店街の魅力を高め、にぎわいを創出する事業に対して、引き続き支援すること。(P25)
	3. スタートアップ等まちなか実証環境構築事業 (P23)	④	2-4. 新たな産業の創造育成や先端技術の地域産業への普及するに努めるため、起業支援事業をさらに強化すること。最先端技術を名古屋市が積極的に購買することや、大企業とのマッチング支援、スタートアップ企業を応援したい金融機関や投資家を支援するファンドサポートの創設等の支援とともに、未来を担う人材育成を推進すること。(P26)
観光文化交流局	50. 国際展示場第2展示館改築事業者選定準備 (P36)	⑤	3-1. 展示場の拡充に関しては、本市における今後の展示場のあり方についての外部有識者の意見を踏まえ、また、他都市における展示場

			整備の状況を見極めたうえで、総合的な方針に基づいて実施すること。 (P30)
	51. 国際展示場整備に伴う交通対策の推進 (P36)	⑤	3-1. 展示場の拡充に関しては、本市における今後の展示場のあり方についての外部有識者の意見を踏まえ、また、他都市における展示場整備の状況を見極めたうえで、総合的な方針に基づいて実施すること。 (P30)
	57. 名古屋城木造天守閣昇降技術開発 (P37)	⑤	1-3. 木造天守閣の昇降に関する新技術を募る国際コンペを実施し、新技術の開発に向けた取り組みを実現させるように努めること。また、新技術の開発に向けた取り組みは、障害者や高齢者の意見を聞きながら進めること。(P28)